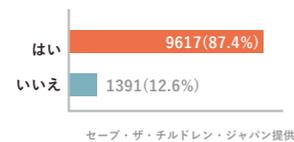


石巻市子どもセンターができた経緯

あなたは自分のまちのために何かしたいと思いますか？
11008人に聞きました



震災直後2011年5月から6月にかけて、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（以下「SCJ」という）は、宮城県、岩手県の子どもたち約1万人にアンケートを実施し、90%近い子どもたちが「まちのために何かしたい」と思っていることを明らかにしました。その声を受けてSCJが子どもたちに呼びかけ、岩手県山田町・陸前高田市・宮城県石巻市の3つの地域で子どもまちづくりクラブを発足させました。石巻市では、2011年7月に石巻市子どもまちづくりクラブが発足。同年夏には、復興に向けたまちづくりをめざし、「夢のまちプラン」を作成し、そのプランを市に提案しました。「夢のまちプラン」の中の色々な想いを一つにし、実現化したのが「石巻市子どもセンター」（以下、子どもセンター）です。地域と連携しながら子どもたちが企画・デザインを行い、2013年12月に完成し、SCJから石巻市に寄贈されました。寄贈後は、石巻市の児童館として運営されています。



子どもまちづくりクラブが考えた子どもセンターのコンセプト

石巻の活性化のために中高生が中心となって作り、運営していく施設
みんなが過ごしやすく、子どもの想いを世間の人たちに伝えられる場所

子どもセンター 条例前文

子どもは一人の人間であり、子ども一人ひとりが生まれながらに権利を持っています。子どもが幸せに健やかに成長するためには、多くのことが必要であり、子どもたちは次のように語ります。

私たちを中心に、話し合ったり、ふれあったり、交流できる場が必要です。

それにより、大人も含めた幅広い年代の人とのつながりを大切に、絆を深めることができます。

みんなが楽しめて、ゆったりできる場が必要です。それにより、私たちは安心して心と体を休めることができ、笑顔が増えます。

私たちが運動できる場が必要です。それにより、体を動かして楽しく遊ぶことができ、心身ともに、健康に成長することができます。

私たちが学べる場が必要です。それにより、お互いに教え合い、考えることを好きになり、理解することの楽しさを知ることができます。

私たちが自由に社会に意見を発信できる場が必要です。それにより、自主的に活動できるようになります。

さらに、まちの未来について考えることが地域の活性化につながり、さらに多くの人に私たちのまちのことを知ってもらうことができます。

だから、私たち子どもが中心となって活動する子どものための施設をつくっていきたくです。

石巻市は、この子どもたちの想いを形にするための施設となる石巻市子どもセンターを設置することにより、生まれながらに持っている子どもの権利が尊重され、子ども一人ひとりが幸せに健やかに成長できる社会につながることを期待し、ここに「石巻市子どもセンター条例」を制定します。

らいつで子どもたちの声が実現する生態系図





屋上

自家野菜を育てている屋上。
イベントスペースとしても使用可能。



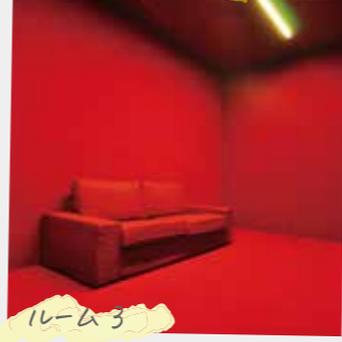
キッズコーナー

木のおもちゃやベビーベッドもあり
0歳から安心して遊べます。



ルーム1、ルーム2

飲食可能なフリースペース。
使い方はあなた次第。



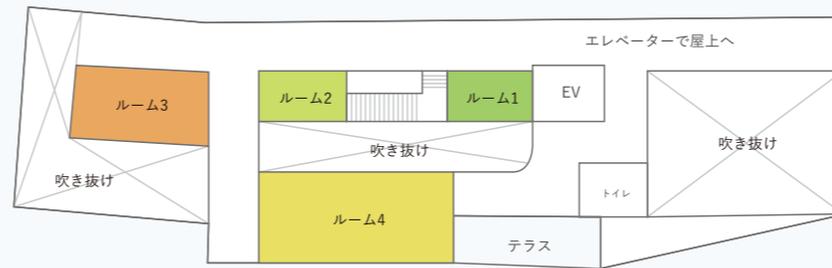
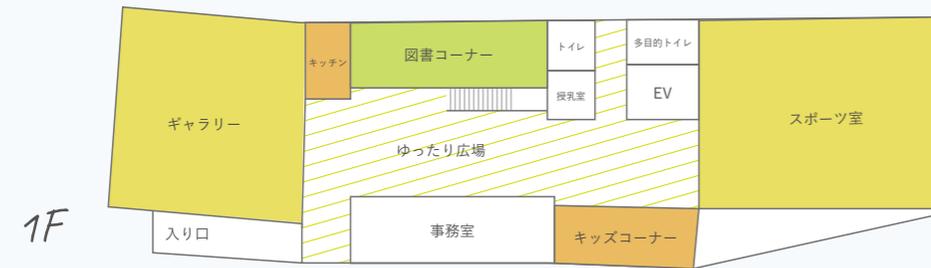
ルーム3

防音室。楽器の練習が可能。
ギターやアンプの貸し出しもあります。



ルーム4

勉強やミーティングに活用できる個室。



キッチン

材料を持参すればいつでも使用可能。
オープンやホットプレートもあります。



図書コーナー

ゆったり寝ころんで本が読めるスペース。
漫画や小説がずらり。



ギャラリー

飲食可能なオープンスペース。
友人とゆっくり過ごすのに最適。



スポーツ室

バスケット、卓球、バドミントンなど
プレイ可能。ダンスの練習にも。



ゆったり広場

床暖房で冬もポカポカ。

子どもセンター 事業体系図

子どもセンターは、子どもの権利を柱に、子ども参加で運営される児童館です。
子どもの権利には「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」4つの権利があります。
この4つの権利に基づき、子どもが遊ぶことを通して育つこと、子どもの声が子どもセンターの事業や運営に活かされること、地域や社会で子どもが力を発揮できる機会をつくることを大切にしています。

子どもセンターの運営

子どもセンター運営会議 (P.6)

子どもセンターの事業

子ども参加事業 (P.6.7.8.9)

- 子どもまちづくりクラブ
- 子ども(らいつ)会議
↳10000人記念パーティー
- BigVoice
- 子ども企画
- まきトーーク
- 子ども実行委員イベント
↳いのまきハロウィンまつり・
夏祭り・らいつの日010

子どもエンパワー事業 (P.10.11)

- 青春力-Youth Power-
- 中高生タイム
- 料理王
- アートラボ
- Earth Teens

子育て支援事業 (P.12.13)

- Mカフェ
- ベビーマッサージ
- 親子ではびはび
- 赤ちゃんルーム
- 音楽であそぼう
- あったかぽかぽか運動あそび
- その他のイベント
- 休日子育て相談

地域連携事業 (P.14.15)

- 移動児童館
- 学校・企業との連携
- おちゃっこらいつ
- ボランティア受け入れ
- 子ども子育て支援講座(研修)

子どもの権利啓発 (P.15)

子ども参加事業

子どもの権利に基づき運営や事業に子どもの声を活かすとともに、子どもがアクションを起こし、子どもの声を社会に発信する、子どもセンターの核となる事業です。



子どもセンター運営会議

運営について話し合い、最終決定をする場です。子どもの声を反映して運営されるように、大人委員5名(地域で子どもを見守り、子どもに関係する活動をしている方)、子ども委員5名(子どもまちづくりクラブ、子ども会議)で話し合います。子ども委員も大人委員も一緒になり、子どもセンターがよりよいものになるように考え、意見を出し合っています。

2月 利用者アンケート・利用者状況報告・検討、次年度の事業について
5月 子どもまちづくりクラブ・子ども会議活動報告、まきトーク報告
10月 市長提言報告、Big Voice報告、子どもまちづくりクラブ活動報告

どのSNSを使おうかな? YouTubeは小学生が見ると思う!



石巻のまちを紹介するための動画と写真を撮りに出発!

子どもまちづくりクラブ

「SNS」をキーワードに「石巻のまちを紹介して、観光客を増やす」「趣味で人と関わって、石巻のまだ知らない人とも仲良くなる!」をテーマに活動中。様々な人と関わることでアイデアや考えが広がることを目的にプロジェクトを進めています。今後も石巻のまちを楽しめる企画に取り組んでいきます。

<2024年の活動>

1月	居場所づくりプロジェクト企画準備 開催日時検討	7月	活動のテーマのアイデア出し
2月	居場所づくりプロジェクト企画準備 役割分担決め	8月	活動のテーマについて決定
3月	居場所づくりプロジェクト「まちクラだよ!全員集合!」イベント開催	9月	活動内容の検討
4月	新体制での活動について話し合い	10月	発信するSNSの検討
5月	今後の活動について検討	11月	撮影のためのまち歩き
6月	メンバー募集のアイデア出し	12月	動画編集

いままでの活動

石巻市子どもセンターらいつ企画デザイン、立町大通り商店街マップ作成や震災を風化させないためのモニュメント制作、水産イベントの実施、石巻の歴史マップづくり、アニメ・マンガをテーマにしたイベント(まきコミ祭)の開催、防災マップづくりや意見交換会(防災リベンジャーズ)の開催、居場所づくりをテーマにしたイベント(まちクラだよ!全員集合)の開催

らいつに欲しいものを聞くために、アンケートをつくってるよ!



らいつ10000人記念パーティー

参加人数: 126人

らいつカード10000人記念パーティーは、らいつカードの登録者数が1万人を突破したことを「お祝いしよう!」と、らいつ会議メンバーが中心となり、おふるまい、ゲーム大会、人狼など様々な企画を開催しました。メンバーは、自分たちが企画したことで、新しいつながりやきっかけができたことを喜んでる様子でした。

会議メンバーが企画・実施しました

代表メンバーが参加

子ども会議 <らいつ会議>

参加メンバー 小学生9名、中学生1名、高校生1名

今年は「①利用者の声をきいて、大切にそして快適にすごせてまた来たいと思えるそして、利用者がふえる②人と話しやすいらいつをつくる③他の児童館のいいところをまねする」という3つの目標を立て、活動中。今後らいつがよりよくなるように活動を続けていきます。

<2024年のらいつ会議の議題・活動>

下増田児童センターに行こう! / 図書やDVDの買い出し / 1年間の振り返り / りいつ会議の今年の目標・議題・やり方について / りいつカードNo.10000突破のお祝いを考えよう / りいつカード10000人記念パーティー / フリー割りばしについて / 図書コーナーを盛り上げよう! / りいつに欲しいものを決めよう! / りいつに欲しいものについて利用者へのインタビュー & アンケート / 運営会議の発表について / 子どもの権利フォーラムに行く人を決めよう! / 石巻市子どもの権利標語の「らいつ賞」について / 「子どもの権利に関する標語コンテスト」の表彰式への参加 / キッチンを使い方について

Big Voice



事業や運営に子どもたちの声を活かすための事業です。だれでも参加できる形で、今ある事業についての意見や要望、改善点、今後やってほしい事業や、子どもセンターでやってみたいことを聞かれています。BigVoiceで出された意見は、運営会議で報告し、各事業や利用方法に反映しています。

子ども企画



子ども企画では、子どもたちがいつでも自由にやりたいことを提案できます。自分で企画書を書き、参加者を集めたり、広報したりしながら、実現させることのむずかしさ、そして企画が成功したときの達成感を感じることができます。今年行った企画は近くの公園で行う「まちの中で逃走中」やらいつの屋上を使った企画も。助成金を一緒に申請し実施した「松島旅行」「仙台旅行」企画もありました。

提案者	内容	結果	実施日	参加人数	提案者	内容	結果	実施日	参加人数
小学生	紹介	承認	2/1	4名	小学生	サバゲー2	未承認		
小学生	おかしカフェ	承認	3/24	38名	中学生	スプラ大会	未承認		
小学生	ばくだんゲーム	承認	4/1	8名	小学生	絵しりとり対決	未承認		
小学生	スマブラ大会	承認	4/2	8名	小学生	松島旅行	承認	7/31	9名
小学生	カレー作り	未承認			小学生	けん玉大会	未承認		
小学生	まちのなかで逃走中	承認	4/14	47名	小学生	ゲーム大会	承認	8/23	10名
小学生	屋上ピクニック	承認	4/21	20名	小学生	お絵かき大会	承認		
小学生	宝探しゲーム	承認	4/27	19名	小学生	ハロウィンスタンプラリー	承認	10/27	14名
中学生	密告中	承認	4/28	9名	小学生	ハロウィンペイントシール	承認	10/27	14名
小学生	なぞなぞおぼけやしき	未承認			小学生	ベイ大会	未承認		
小学生	サバイバルゲーム	承認	6/9	9名	小学生	スノードームづくり	未承認		
小・中学生	夏祭り	承認	6/16	23名	小学生	スマブラ大会	承認	11/16	8名
小学生	山田りょうりてん	未承認			小学生	どんぐり工作	承認	11/16	7名
小学生	らいつ甲子園	未承認			小学生	仙台旅行	承認	11/17	7名
小学生	祭り	未承認			小学生	農業体験にいこう	承認	12/7	9名
小学生	食べものパーティー	承認	未実施		小学生	第2回スマブラ大会	承認	12/8	12名
小学生	七夕アンド夏祭り	承認	7/7	24名	小学生	SCPをもっと知ろう	承認	12/14	5名
小学生	なつこわいおぼけやしき	承認	未実施		小学生	第2回まちなかで逃走中	未承認		
小学生	らいつ遠足	未承認							企画数: 37

まきトーーーク

5月19日(日) 小学生13名 中学生4名 高校生2名 合計19名

子どもたちの声を市長や地域のひとに届けようと、～新しい石巻のリーダーズは君だ!～をサブタイトルとして開催。「まちなかを人が歩いていない」「空き地や空き店舗がそのままになっている」等のまちのこまりごとを共有し、どうしたら石巻のまちが活性化するか話し合い、「石巻のまちを歩けば歩くほどポイントがたまるしくみがあつたらいい」「寝ることができるフリースペースをつくる」などのアイデアが出てきました。

その後、石巻のまちなかをよりよくするための計画(中心市街地活性化計画)に今回出たアイデアを子どもたち自身が市役所や会議、そして市長に届けにきました。



7月1日 石巻市役所に活動報告
7月4日 中心市街地活性化計画会議に活動報告(動画)
8月21日 石巻市長との懇談会

子ども企画が実現するまで

やりた〜ことアイディアを思いついたら企画書に記入

できた企画をみんなに伝えよう

①子どもたちから提案された企画は、遊びに来ている小学生・中学生・高校生各1人ずつの3人以上の子どもたちによって、やるかどうかの議論を行います。
②楽しそう、工夫したところがあるなどの視点で点数をつけ、合計点の8割以上を取ると、承認されます。

承認されたら準備

子ども実行委員企画イベント

らいつでは、子どもたちが参加しやすい子ども参加の仕組みの一つとして、年に数回、子ども実行委員を募集して、子どもたちが主体となってイベントを企画運営しています。



小学1年生から中学生までの子ども店長が約1か月間、時間をかけて準備を進めてきたよ!

夏祭り

夏祭りは子どもたちがやりたいことを自分たちで企画し、店長となって準備していきます。子ども店長会議では、当日のごみ箱をどう設置するか、お店の休憩時間をどうするかなど運営のことも考えていました。それぞれの店長がどんならいつの夏祭りにしたいか目標を立て、来た人に楽しんでもらえるよう工夫を凝らし、様々な企画で利用者を出迎えました。

<企画>水でつぼう射的、かき氷、チョコバナナ、キラキラゼリージュース、たこ焼き、フルーツ館、射的、えいがかん、お笑い
実施日: 8月25日 参加者: 178名 店長・実行委員: 19名

いしのまきハロウィン祭り

元々は子どもまちづくりクラブが中心市街地活性化基本計画に向けて「商店街でハロウィンパーティを開催する」を提案・実現したハロウィン祭り。今年も商店街の店舗と協力し、おかしあつめを開催しました! 仮装をした子どもたちがマップを見ながらまちを歩き、お店の人との交流も楽しみました。また、館内でもハロウィンメイク、おぼけやしき、おかしづくりなどの子ども企画も行いました。

<企画>ハロウィンメイク、おぼけやしき、おかしづくり
実施日: 10月26日 参加者: 892名 実行委員・企画委員: 6名
協賛: アイトピア大町会、アイトピア銀座会、立町大通り商店街振興組合、中央一大通り会、橋通り商店街振興組合
協力: いしのまき元気いちば、一般社団法人ISHINOMAKI2.0、株式会社街づくりまんぼう



うまい棒上手に釣れるかな

1日館長からの挨拶!

らいつの日010

開館から毎年開催される10周年記念イベント「らいつの日」。今年は10年という節目にあたるため、実行委員メンバーによるお楽しみ企画で盛り上げる前日祭、21日の本祭の2日間にわたって、開催しました。前日祭では、すべての人が楽しめるをテーマに中高生から大人まで楽しめる難易度高めの「脱出ゲーム」やヒット曲やヒーローショーで盛り上がる「ステージ企画」などのイベントで大盛り上がり! 本祭では、実行委員メンバーが1日館長を務め、餅まきからスタート。ワールドカフェでは、らいつの事についてOBOGと現役世代で話し合っ盛り上がりました。最後は館内にいるすべての人たちがビンゴ大会で楽しんだ後、閉会宣言をして終わりました。

お楽しみ企画: うまい棒つり、ドッジボール大会、カルタ大会、脱出ゲーム、ステージ企画
本祭企画: オープニングセレモニー(開会宣言、餅まき、クロストーク)、おふるまい、ワールドカフェ、エンディングセレモニー(ビンゴ大会、閉会宣言)
参加者: 1月20日 249名、1月21日 172名
実行委員会: 11名

子ども エンパワー 事業

子どもの様々な興味関心を引き出し子どもが地域や社会とつながることで、自分のもつ力や可能性に気づき、次の一步を踏み出すきっかけをつくりま

中高生タイム

中高生世代同士が集まりつながる場として、また地域の大人と交流する場として毎週土曜日の夕方に「中高生タイム」を開催！中高生世代の特別な時間として、フリードリンクや服のおさがりを準備しています。ゲーム対戦をしたり、スポーツをしたり、何もなかったりと自由に過ごしています。地域開放デーには、らいつの卒業生が差し入れを持ってきて、みんなでお菓子パーティーもしました。

年間参加者 597名 毎週土曜17:15~18:45開催

青春力 -Youth Power-

中高生世代が様々なテーマを通じて地域や社会に関心を持ち、繋がることのできる事業です。社会人や大学生と交流し、進路や職業について話を聞く「進路ラボ」ではメモをしながら意欲的に参加している中学生もいました。今後も、中高生世代が参加しやすく、みんなで交流できる企画を開催することで、多様な層がらいつに足を運ぶきっかけづくりに取り組んでいます。

3月 卒業進級パーティー 子どもセンター職員 16名
6月 進路ラボ 地域の大人、らいつOB・OG 4名
8月 浴衣でまちなか花火 かめ七呉服店(着付け) 11名

自分で着付けた浴衣でまち歩き
初めて歩く場所もたくさん

社会人や大学生などに話を聞いて進路について考えたい、進路の説明もしたい



料理王

食を通じて子どもたちが地域や社会と交流を深める事業です。子どもたちのニーズに合わせて地域の方を講師に招き、家でも自分の力でも作れる料理や、地域の食材を使った料理、季節の料理などを作り、楽しく学びながら食育にもなっています。コロナ禍から3年ぶりに再開し、改めて食がつくるつながりの大切さを感じました。今後も子どもたちの身近な「できた」を大切に実施していきます。

7月 みそ玉づくり 遠山由佳理さん 11名
12月 狼師さんと作ろう！鹿肉バーガー
ヤマノメグミ合同会社 狼師作家だるさん 13名

この形は、なにかに使えるかも

アートラボ

芸術体験を通じて、表現方法の多様性やものづくりの楽しさを感じることでできる事業です。自分の気持ちや言葉をうまく表現できない子どもたちにも、様々な方法で思いを伝えられることを知ってほしい、自分の可能性を広げてほしいと取り組んでいます。今年は、ものづくりだけでなく地域の劇場を見学し、ネイルアートを楽しむなど様々な芸術分野の体験をしました。地域の方と子どもたちが継続的につながっていく事を意識して開催しました。

1月 書き初め会に参加しに行こう！ 櫻井育子 7名
4月 キネマテカにいこう！ 石巻劇場芸術協会 9名
6月 スライムを作ろう！ 石巻市サイエンスラボ 19名
10月 オブジェづくり 石巻工房 9名
11月 はじめてのネイルアート .pupuuRosy-rosynail 15名



初めてだけど、たのしい



Earth Teens

社会・人権・平和をテーマに、子どもたちの「知りたい」「やりたい」「考えたい」気持ちを育てる事業です。子どもたち自身が社会課題を見つけ地域とつながれるようになり取り組んできました。今年は、ピクニックをしながら実際に防災食を食べ、キャンプ場で自然体験をしました。今後も地域資源を知ったり、関わったりしながら、子どもたちの様々な発見のきっかけになるように取り組んでいきます。

2月 みやぎのしょくざいをつくって、たべよう ごつおうさん 11名
3月 防災ピクニック 子どもセンター職員 5名
5月 らいつで野菜・花植え体験 株式会社水沢種苗店 10名
8月 いしのみまきの漁業体験 ISOP 14名
9月 デイキャンプ 場所 雄勝FORESTキャンプ場 子どもセンター職員 14名



子育て支援事業

仲間や地域とつながり、いっしょに育ちあうことを大切に実施。子どもの権利を大切にしながら、子どもの育つ力を引き出すイベント、親子でホッと安心できる場づくりをしています。



Mカフェ

年間参加者数884名
毎週月曜開催

『乳幼児親子がホッと一息つける場所』をテーマに開催。子どもだけでなく、ママ達のおしゃべりの場にもなっています。看護師、歯科医、エステティシャンなどの出会いの場、様々な相談の交流場にも。お下がり交換会も実施し、持ち込む方・持ち帰る方両方に喜ばれました。



ベビーマッサージ

年間参加者数 146名
毎月1回開催

ハイハイまでの乳児親子対象。わらべうたに合わせて、親子のスキンシップの方法や赤ちゃんの権利、発達、社会参加の視点の大切さを学ぶとともに、ママの情報交換の場にもなっています。毎月開催され、児童館デビューのきっかけにも。



音楽であそぼう!

年間参加者数 382名
毎月2回開催

しっかり歩き1~2歳児親子対象。音楽に合わせて歩いたり、時には動物に変身したり、楽器やボールなどを使ったりと、親子で楽しくからだを動かします。最後にはお絵描きやシール貼りなどのプチ製作の時間。毎月2回開催なので、習い事のように通う子も。ママの運動にもなっています。



親子ではぴ☆はぴ

年間参加者数 217名
年3回開催

0歳児親子を対象にした5回セットの講座。地域で活躍する様々な方を講師に招き、週替わりで子育てに関する「赤ちゃんの権利」「離乳食」などのテーマの講座を実施。毎回活動後に残っておしゃべりをしながらママやパパ達がゆっくりする姿も!子育ての輪が広がっています。



あったかぽかぽか運動あそび/えいごでリズム

『運動遊び』年6回開催 年間参加者数 59名
『えいごでリズム』年3回開催 年間参加者数 33名

もっと体を動かしたい!3歳から6歳児対象。幼児体育あそびインストラクターをお招きし、とび箱やマット運動など、広いスポーツ室で思いっきり体を動かしています。4月以降はママ達からの声もあり、えいごでリズムと交互開催!講師と一緒に、音楽に合わせて楽しく英語に触れる機会にも。



あかちゃんルーム

年間参加者数 92名
毎月1回開催

0歳だけの空間で、月齢の近い親子同士、情報交換やおしゃべりができるあかちゃんルーム。定期的に参加する親子も多く、月齢が近いからこそ、子育ての悩みや近況を相談・報告しあい、我が子だけでなく、参加した子どもたちの成長も一緒に見守れる場です。



パパ講座

『パパと一緒にふれあい遊びコンサート!?!』参加者数 32名
『パパと一緒にフィットネス』参加者数 39名

3月に『パパと一緒にふれあい遊びコンサート!?!』、6月に『パパと一緒にフィットネス』を開催。両日もあかちゃんから6歳まで、パパと一緒に、ダイナミックな動きに息を切らしながら大変盛り上がり、どちらもパパが主体になり、ママは微笑ましく見守り、優しい時間が流れていましたよ。



その他のイベントたち

助産師のたまひよ応援隊を招いて、おんぶグッズの使い方や、やさしい抱っこの仕方などを実践を通して学ぶことができる『抱っこ・おんぶサロン』。カメイ薬局石巻山下店の薬剤師による、座薬の入れ方やジェネリックについて学べる『あかちゃんとお薬のお話』。NISA についてファイナンシャルプランナーが解説する『パパ・ママのためのマネー講座』。どれも利用者の方の声により開催されたイベントです。

抱っこ・おんぶサロン/年3回開催/年間参加者数 54名
パパ・ママのためのマネー講座/1月25日開催/参加者数 15名
あかちゃんとお薬のお話/6月5日開催/参加者数 15名

休日子育て相談



土曜日及び日曜日子育てに関する相談を行っています。11時から16時は『休日子育て相談員』がいますので、子どもと過ごしながらくつりと相談することができます。

地域 連携事業

地域住民や学校・企業等と連携し、地域の中の居場所づくり、研修を行い、子どもたちの社会参加や見守り育てるセーフティネットを広げる活動しています。



移動児童館事業

市内に一館しかない児童館らいつに、遠くてなかなか行けないという声を受け、出張での遊び場を開催しています。今年も引き続き震災以降、市内での移動人口が多かった蛇田地区での遊び場の開催を継続しながら、新しく稲井地区、渡波・万石浦地区での開催も行いました。蛇田地区では、地域団体の青少年健全育成市民会議 蛇田委員会から大人たちが見守りに来ています。遊びに来た子どもたちとたき火を囲んでおしゃべりし、一緒に工作でつくったあそびをして、地域の中で子どもたちを見守る居場所。稲井地区と渡波・万石浦地区では、自由な遊びはもちろん、ジュニアリーダーの風船遊び、民生委員さんと一緒に料理も行いました。

《蛇田地区》
【開催日】1月28日(日)12名、2月25日(日)16名、3月24日(日)38名、5月26日(日)60名、6月23日(日)10名、7月28日(日)20名、9月15日(日)10名、11月24日(日)16名
協力:石巻市社会福祉協議会、中埜二町内会、石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会、青少年健全育成市民会議 蛇田委員会

《稲井地区》
【開催日】8月31日(土) 33名
共催:石巻市役所子育て支援課、石巻市中央公民館、石巻市稲井公民館、特定非営利活動法人にじろくレオン
協力:ボランティアサークルげろっば

《渡波・万石浦地区》
【開催日】12月26日(木) 36名
協力:万石浦小学校、認定NPO法人こどもっ感ばにー、渡波地区民生委員児童委員協議会、石巻市社会福祉協議会、万石浦町内会1区、万石浦町内会2区

学校・企業との連携事業

高校の総合の時間や大学の実習生の受け入れなど、地域の学校と積極的にかかわり、学生だけでなく、先生たちとの関係づくりもしてきました。また、子どもたちが企業や地域の皆さんと顔の見えるつながりを持つことで、企業の専門性を知り、多くの大人と関わる機会にしたいとの想いから実施しています。

学校:宮城県石巻商業高等学校・宮城県石巻高等学校・宮城県石巻西高等学校・宮城誠真短期大学・東北福祉大学・宮城教育大学・石巻専修大学

企業・団体:サントリーフラワーズ株式会社/野菜植えイベント
フィッシャーマン・ジャパン/魚料理イベント
株式会社街づくりまんぼう/オープニングセレモニーへの参加



おちゃっこらいつ

もっと子どもたちと地域が交流できる場をつくらうという想いのもと、子どもから高齢者までだれでも参加できる「おちゃっこらいつ」を開催しています。今年は乳幼児タイム、小学生タイム、中学生タイムとそれぞれ地域開放デーを設定し、地域の方が参加しやすいように工夫を凝らして毎月3回おちゃっこを開催しました。小学生タイムでは、中庭にゴザを敷いてだれでも気軽にお茶っこできます。普段開けない中庭に続く扉を開け、らいつの中との行き来できる場をつくりました。

地域開放デー お茶っこらいつ
乳幼児タイム 毎月第1月曜日 10:00～12:00
小学生タイム 毎月第4木曜日 15:00～16:45
中学生タイム 毎月第2土曜日 17:15～18:45



ボランティア受け入れ

若者の活躍の機会をつくることを目的に、日常的なボランティアの受け入れをしています。参加の際に子どもの権利やらいつが大切にしていることを伝え、考えてもらうオリエンテーションを実施しています。教育現場を志す学生、らいつを利用していただけた若者、子どもや教育に関心のある大人など県内外から様々な方々が来て来ています。

ボランティア登録14名、延べ受け入れ回数69回



子ども子育て支援講座

子ども一人ひとりが、いまを生きる主体として大切にされ、見守られ育つことのできる地域や社会をつくるために、子どもの権利を軸に多様な視点から学びました。

- 3月21日 子どもアドボカシーと子どもの権利
檀崎たつみ(一般社団法人子どもアドボカシーセンターみやぎ代表理事) 18名
- 6月29日 子どもの学ぶ権利を支えるための奨学金ガイダンス
片桐京子(独立行政法人学生支援機構 スカラシップ・アドバイザー) 5名
- 10月29日 声を聴くとは?～オープンダイアログの実践から学ぶ～
森川すいめい(精神科医) 31名
※issysoへびたと合同開催

チャイルドファシリテーター研修
らいつの子ども参加において、子どもたちの声を引出しサポートするチャイルドファシリテーターを養成する研修を随時実施

子どもの 権利啓発

らいつは子どもの権利を柱に運営しています。また、石巻市は、宮城県で唯一子どもの権利に関する条例を制定しているまちです。そこで、らいつから子どもの権利・子ども参加を発信して、もっと子どもや保護者に知ってもらいたいという思いから、11月20日に「世界こどもの日」がある11月を「子どもの権利月間」として様々な活動に取り組みました。

- 【2024年度実施した取り組み】
- ①飾ろう!らいつツリー
(子どもの権利に関する利用者の声の掲示)
 - ②子どもの権利に関するポスターや本の展示
 - ③子どもの権利絵本の読み聞かせ



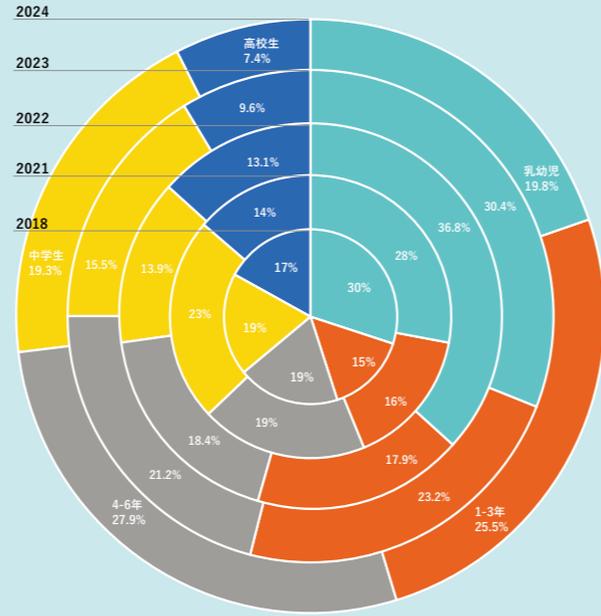
データで見る子どもセンター

2024年の特徴として、利用者総数が2023年度より増えていること、小学生の割合が増えている傾向にあることがあげられます。高校生の割合が減っている様子が見られるものの、らいつの特徴である乳幼児から高校生までの世代が幅広く利用している点は今年度も変わらず、その傾向が見られます。平日・土日問わず、乳幼児から高校生世代の子どもたちが一緒に遊んでいる様子が多く見られ、異年齢での遊びやコミュニケーションの場、子どもたちが自然に子育てに触れる場となっています。また、乳幼児親子同士で子どもを預け合う様子も見られ、保護者にとっても子どもの育ちや悩みを共有する場となっています。

また、らいつで初めて子ども企画として助成金をとって開催した「松島旅行」企画をはじめ、子ども企画が昨年より多く生まれ、さらに、いままで利用が少なかった湊地区の子どもたちの利用が増えるなど新しい広がりを感じる1年でした。

高校生の利用割合減少については、運営会議の議題として取り上げ、「子どもセンターだと高校生は来づらいのでは?」「地域の人に協力してもらい、高校生向けのバイト体験をしては?」など子ども委員、おとな委員と意見交換しています。

これからも子どもたちの声を聞き、それを生かし、0歳から18歳までの子どもたちが幅広く利用できるような環境づくりに取り組みます。

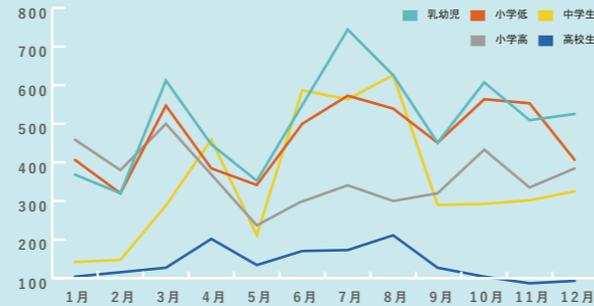


1-12月 一般来館者年齢別割合

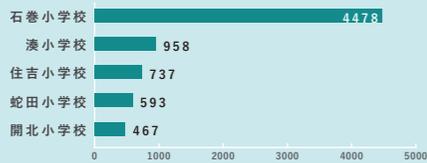
1-12月 延べ来館者数

	乳幼児	小学低	小学高	中学生	高校生	おとな	合計	2023年
一般来館	4,353	5,601	6,122	4,242	1,626	4,094	26,038	22,650
定期開催事業	1,107	315	352	454	291	1,031	3,550	3,591
行事	449	516	469	69	182	975	2,660	2,710
子ども企画	60	200	144	35	8	27	474	276
団体利用	89	366	124	15	26	241	861	1,285
見学	0	2	16	7	12	287	324	230
総合計	6,058	7,000	7,227	4,822	2,145	6,655	33,907	30,742
2023年	7,209	5,520	5,045	3,688	2,290	6,990	30,742	

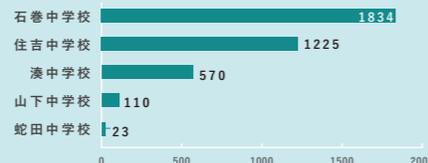
1-12月 一般来館月別年齢別推移



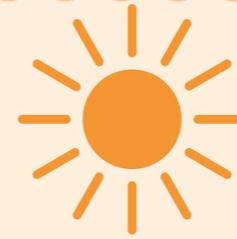
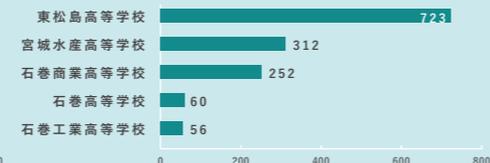
小学校別年間利用者数(上位5校)



中学校別年間利用者数(上位5校)



高等学校別年間利用者数(上位5校)



利用者の声

ひまつぶし



子育て世代にも
もすしやすい

土日の日の家



走り回れる場所



みんなで
たのしめるでしょ

ここに来れば誰かいる。
話ができる。

勉強する場所



他の人と交流が
できる場所

子どもが自分から
きたくてくる場所

安らぎ

第2の家

お部屋が気持ちがいい。
寝るととくに
気持ちがいいです



安心できる場所

自分とこどもと
おじいちゃんおばあちゃん
でも遊べる



こどもまんなか ぐるぐるじどうかん

「こどもまんなか」「こどもの声をきく」「こどもの居場所」がキーワードの一年でした。らいつはいつも子どもたちといっしょに考える、いっしょに決めるがあたりまえ。あたりまえになっているのは、らいつが「子どもにとって一番いいこと」を大切にしている場所だということ、子どもも大人も知っているから。

日常の中の小さな声や気持ちが、だんだん、らいつ会議や運営会議につながって、「いいね」「もっと良くするには」とみんなで考えて、らいつが過ごしやすい場所になるだけでなく、まち全体が過ごしやすい場所になるアクションになることも。らいつは0歳～18歳の子どもの成長を見守り、親になり、地域人材となり、と切れ目なく「ぐるぐる」命を見守る児童館であるとともに、声も「ぐるぐる」巡らせながら運営しています。

2023年4月から運営 指定管理者「ベビースマイル石巻」

子どもセンターらいつは、2014～2017年度まで石巻市が直営で運営していました。その後、指定管理に移行し、2018年度から「いしのまき子どもセンターコンソーシアム（NPO法人 ベビースマイル石巻とNPO法人 子どもにやさしいまちづくりの2団体で構成）」が選定され指定管理者として運営してきました。2023年度はNPO法人 ベビースマイル石巻が指定管理者となっています。石巻市では子ども参加の取組として、子どもセンターの指定管理者選定の過程において、子どもたちが意見や想いを伝えられるように、子ども委員を設置しています。



指定管理選定における子ども委員

らいつ職員が大切にしたいこと10か条

- 1 職員は、らいつにいる子どもも大人も含めて、ひとりひとりを大切にする（職員同士も）
- 2 職員は、利用者のあらゆる声（変化や声にならない声も含めて）を聴き、「やってみたい」を大切にする
- 3 職員は、利用者の気持ちを受け止め、利用者を信じて待つ姿勢を大切にして、見守る
- 4 職員は、子どもにとって遊びや遊びを取り巻く環境が大切なものであると理解する
- 5 職員は、子ども自身の思いや気持ちを大切にしながら、子どもにとって何が一番良いか考える。ときには失敗も必要と理解する
- 6 職員は、誰でも気軽に来やすく安心できる環境をつくるために、利用者との日常的なかかわり・ふれあいを大切にする
- 7 職員は、利用者と支援する、されるの関係ではなく、一人の人としてお互いに学び・育ちあう関係をつくる
- 8 職員は、社会・地域・人と人のつなぎ役になるために、多様な引き出し・選択肢を持ち、仕掛けをする
- 9 職員は、自身の心身の健康・いきいき・ワクワクを大切にする
- 10 職員は、職員同士のお互いの気持ちや情報を日々共有し、振り返り、子どもセンターの実践を通して、子どもの声や意見、子どもの権利を社会に向かって発信する





石巻市子どもセンター らいつ

〒986-0824 石巻市立町1丁目6番1号

TEL:0225-23-1080 / FAX:0225-23-1081

開館時間 9:30～19:00

休館日 年末年始、祝日、第1・3木曜日

<https://ishinomaki-cc.jp/>